

第4-5回

[概要] ※班ごとの調査や実践活動 (5月-8月)

1班 班活動 実践報告

1 実施日 2014年8月24日 (日) 9:30-14:30

2 参加のきっかけ 1班の班活動のねらいは「地元石巻のイベントに参加しながら、石巻を盛り上げ、石巻の良さをアピールしたい」である。そこで、石巻にいなながら、あまり馴染みのなかった『トリコロレ音楽祭』というイベントで、自分たちのできることがないかを考え、参加することになった。

3 活動内容

(1) 前のPR活動 (個人) 『トリコロレ音楽祭』事務局から塾生一人につき、ポスターを2部ずついただいた。自分たちと同世代を呼び込みたいという願いもあり、自分の学校や駅などに一言コメントを添えて貼った。

(2) 当日の活動 (グループ全員) 事務局の方との打合せから、会場が12ヶ所にも分かれていることから、メインのAステージ (石巻駅前にぎわい広場)、Cステージ (石巻立町復興ふれあい商店街)、Dステージ (リオモールパーキング) に分かれて、各会場の手伝いを行った。Aステージではメインでもあることから人通りも多く、当音楽祭のパンフレットを挨拶をしながら配った。C、Dステージでは、歩道に人通りがあっても、なかなか会場へ入ることはなく、歩道に出て、宣伝の一言も添えながらパンフレットを配った。自分から挨拶をしたり、配っても断られたりすることもあり、始めは難しさも感じていたが、「イベントに参加してほしい」という強い願いもあり、積極的に声を掛けながらパンフレットを配る姿が見られた。その他にも、演奏前の紹介アナウンスや募金のお願いのアナウンスなども担当し、自分たちのできることを考え、自主的に活動していた。



耕人塾 1班副担当 石巻市立二俣小学校 教諭 本田 美希子

2班 班活動 実践報告と今後の予定

1. ねらい

2班は、「復興の恩返しをしよう！人との関わりや繋がりを大切にしよう！」というねらいの下，地域で一番大きなお祭りである「川開き祭り」に来た人たちに綺麗な石巻をアピールしよう，気持ちよくお祭りを楽しんでもらおうという趣旨の下2回に分けて清掃活動を行った。綺麗な状態で観光客の方をお迎えすることにより，感謝の気持ちを表すとともに，綺麗な石巻を発信しようという目的で活動した。

2. 実施日	平成26年7月27日（日）	8:30-9:00
	平成26年8月2日（土）	6:00-7:00

3. 活動の記録

(1) 7月27日（日）

8:30-9:00

石巻駅周辺

石巻駅周辺のゴミ拾い活動を行った。思ったよりもゴミが多く，準備したゴミ袋はあっという間にいっぱいになった。中でもたばこの吸い殻と空き缶が多かった。綺麗な石巻にしようという思いから，ゴミ拾い活動にとどまらず雑草も抜くなど主体的な取組が見られた。2回目の活動も当初は30分の予定だったが，「30分では足りない。」という声上がり，1時間活動することになった。塾生の頑張りが随所で見られた活動になった。



(2) 8月2日（土）

6:00-7:00

住吉神社-内海橋周辺

川開き祭りの翌日の朝6時から，3班と合同で2回目のゴミ拾い活動を行った。前回よりもゴミが多く，終了予定時間になってもなお活動した。

「食べた後等に出る，ゴミの処理の仕方や喫煙者のマナーについてなど，今後意識を変えていく必要があるのではないか。」といった，意見が出された。



4. 今後の活動について

2回のゴミ拾い活動を終えて、今後も継続してゴミ拾い活動を続けていきたいという意見が班の中
で出た。10月から3ヵ月間、月1回ゴミ拾い活動を継続していくことになった。

<次回の活動>

- ・ 期日 : 平成26年10月12日(日) 8:00-9:00
- ・ 場所 : 石巻駅周辺-立町通り

耕人塾2班 主担当 石巻市立蛇田中学校 教諭 畠中 隆廣

3班 班活動 実践報告

3班は、石巻のいいところをもっと多くの人に知ってもらいたいとの思いから、川開き祭りで自分
たちができることをしようと考え、二つの活動を企画・実践しました。

一つ目の実践活動は、7/31(木)に行った川開き祭りをアピールするためのリーフレット配布で
す。夕方6時から、駅前で作りのリーフレット150部を配布しました。実際に活動してみると、恥
ずかしさが先に立ってなかなか積極的に配れなかったり、勇気を出して渡しに行っても受け取
ってもらえなかったりと、想像していた以上に大変な活動だということを実感することができ
ました。それでも、予定していた30分という時間で全て配り終えることができましたとこ
ろに、塾生の頑張りを感ずることができました。

月に1度という限られた活動の時間の中で記事の内容決めや役割分担等を行い、頑張
って作成したオリジナルリーフレット。作成にあたっては、川開き実行委員会に電話を
かけて花火大会のアナウンスをしている方のインタビューの記事にするといった工夫も
見られました。来年度、さらに工夫を加えたリーフレットを作成、配布し、川開き祭
りを盛り上げるための力になればいいなと思っています。



二つ目の実践活動は、8/2(土)のごみ拾いです。前日の川開き祭りで汚れた街中をきれい
にしようと、2班と合同で行いました。朝6時から1時間の予定で活動を始めましたが、思
ったよりもごみが多く、予定時間を超えて活動しました。後日、活動の振り返りを行
ったところ、「ごみ捨て場をもっと増やした方がいい」「ごみのポイ捨てをしないよ
うな呼び掛けが必要」といった現状を改善するための前向きな意見が出されまし
た。今後、日常的にごみ拾い活動を行っていく方向で検討しているところで
す。



耕人塾3班 副担当 石巻市立山下小学校 教諭 前田 尊央

4班 班活動 実践報告と今後の予定

【4班の目的】

「世界に誇れる石巻をつくろう」のテーマのもと、『立町商店街の手作りMAPを作成し、県外や地元の人たちに石巻のよさをPRする。』

【活動の記録】

(4月)

テーマに即した4班の課題を何にするかという話し合いをもった。「ごみ拾い」「挨拶」等昨年度の耕人塾での取組を参考にした意見が出された。しかし、班員の思いとして「石巻のよさをPRしたい」ということが挙げられたため、それを4班の活動の柱にしていこうということで課題が決定した。

(5月)

「石巻のよさをPRするために、どんな方法をとるか」という主旨の話し合いがもたれたが、なかなか進まなかった。そこでまずは「石巻のよさとは一体何なのか、自分たち自身が体感しよう。自分たちの足で調べよう。」ということで方向性が具体的になってきた。

(6, 7, 8月)

調査場所としては立町商店街アーケード周辺にスポットをあてることにした。元々、石巻の中心地であったことや歴史的・文化的にも価値のある地であること。そして何よりも「川開き祭り以外には足を運ばない。」という現状を打開していかなければならないという思いがあった。この時期、「未来サポート石巻」を紹介していただき、栃木県の高校生との交流会の話をいただいた。4班としては8月23日の交流会に向けて次の様な段取りをとった。



・4班での実地踏査を行い、自分たちが同世代の人たち、県外の人たち、石巻に昔から住んでいる人たちに対してPRしたい店や文化遺産等をピックアップした。

- ・震災後、石巻を支援してくれている団体の活動場所も回り、23日の「栃木県の高中生との町歩き」の際に説明しようということを確認した。
- ・「子どもセンターらいつ」に班の活動の主旨を伝え、23日の交流会の会場提供の依頼もとり付けた。
- ・8月16、17日の耕人塾宿泊研修にて、手作りの「立町MAP」を作成した。

(8月23日交流会)

A、B2つのグループに分かれて「立町商店街の町歩き」「ディスカッション形式の交流会」というプログラムを実施した。(途中でA、Bチームは交代した)町歩きの際には石巻市役所1階の「石巻カフェ」(かぎかつこ)にも行き、お話をいただいた。

2時間弱という短い時間ではあったが、自分たちの活動の中間のまとめとしての場とすることができた。

【活動の成果と今後の予定】

(成果)

- ・設定した課題を解決するためには、自分たち自身の課題(知らないこと)も明確にしていかなければならないことを感じる事ができた。
- ・課題の解決方法を班単位で考えることができた。
- ・課題解決の難しさと班で活動する楽しさを実感できた。・耕人塾として、県外の高中生や石巻の団体との関係(パイプ)を増やせた。

(成果と今後の予定)

・班の活動の成果を、手作りパンフレットという形に仕上げられそうなこと。今後は完成を目指し、継続して班活動を続けていく。また、どんな場所に置いてもらうか、そのようにして活用してもらうかといった視点で話し合いをもつ予定である。



耕人塾4班 主担当 石巻市立鹿妻小学校 教諭 須田 佑介

メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

平成30年度の活動

平成29年度の活動

平成28年度の活動

平成27年度の活動

平成26年度の活動

第1回

第2回

第3回

第4-5回

第6-7回

第8回

第9回

第10回

第11回

平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞